発行日：
2012年4月1日

明治学院大学心理学部　白金心理学会報

さいころ

第4号

2011–2012

白金心理学会イベント

- 2011年10月8日

  白金心理学会第4回大会：博士後期課程修了生(島内晶さん)による講演会、心理学部教育GP記念シンポジウム、総会、ラウンドテーブル「東日本大震災支援～心理学は何ができるか～」、懇親会　開催

- 2011年12月12日、13日、16日
  白金心理学会在学生部会SC第6回キャリア支援シリーズ「What's　院進学!!」開催

目次：

会報第4号に寄せて　1
第5回白金心理学会大会のお知らせ　1
在学生部会活動報告　2
心理学部公開講座の報告　2
インタビュー よろしくおねがいします!! ～伊藤　拓先生の巻　3
第4回大会の報告　4
事務局よりお知らせ　4

会報第4号発行に寄せて

金子　健　学会長 (心理学部長)

来年（2013年）に創立150周年を迎える明治学院大学の中で、歴史と伝統を踏まえつつ時代の要請に応えるという願いのもとに1990年に文学部心理学科が設立されて以来22年が経過しました。2004年に心理学部心理学科として独立し、2010年には、教育発達学科が新たに加わりました。ともに心理学を学んだ卒業生の数は2000名を超えます。卒業生有志の努力で始まった情報交換の場は、2008年に、卒業生、在学生と教職員の共通の学びのネットワークである「明治学院大学心理学部白金心理学会」として新たなスタートを切りました。親睦や情報交換の場としての役割に加え、学会としての学術的機能の蓄積という役割の強化も期待されています。

大学での学び、卒業後の職場や家庭での日常的な体験からの学び、それに心理学領域での最新の学術的研究、これらの三者が相互に響きあいながら深まり高まることを目指した循環型学習を実現する場としての「白金心理学会」です。

金子　健　先生

本年度4月から、期せずして心理学部長をあらためて仰せつかることになり、井上前会長を次いで白金心理学会二代目会長を拝命しました。二学科体制となった心理学部では、会員のニーズや学内外からの要請も多様化しています。課題も多くなりますが、皆さんとともに一層の充実に向けて力を合わせて参りましょう。

第5回白金心理学会大会のお知らせ

野末　武義先生(心理学科准教授)

みなさん、こんにちは。この冬はひときわ寒さの厳しい日が続きましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、白金心理学会第5回大会が6月9日（土）に開催されることになりました。大会プログラムの概要が決まりましたのでお知らせいたします。

まず、総会では白金心理学会のさまざまな活動と計画についてご報告いたします。続いて、この3月に大学院心理学研究科博士後期課程で博士号を取得した北風菜穂子さんに、若者の恋愛行動とデートにまつわる臨床心理学的な問題についてのお話を伺います。

そして、今回は大会テーマを「現代社会とコミュニケーション」とし、心理学科の卒業生や心理学研究科の修了生に話題提供をお願いしています。昨年3月の東日本大震災以降、多くの人が人と人との絆の大切さを再認識したと思いますが、コミュニケーションはその基盤を成す重要なテーマであると言えるでしょう。今回は、基礎心理学領域からはコミュニケーションの起源に関するお話、臨床心理学領域からは職場におけるコミュニケーションや人間関係の問題、教育・発達心理学領域からは学校現場における教師・生徒・保護者のコミュニケーションについてお話しいただき、心理学部の教員とフロアの皆さんを交えてのディスカッションを行いたいと考えています。現在心理学部や大学院心理学研究科で学んでいる在学生はもちろんのこと、卒業後様々な領域で仕事をしている方にとって、また、家庭で親として日々子どもと向き合っている方にとっても、有意義な時間になることと思います。

さらに、今回はプログラム中にティー・ブレイクの時間を設けました。話題提供者への質問はもとより、お世話になった先生に近況を報告するなど、有意義にお使いいただければと思います。もちろん、夕方からは例年と同じく懇親会も予定していますので、こちらにも是非ご出席いただき、同級生、先輩、後輩、教員との親睦を深めていただければと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

在学生部会活動報告

元松　政人（在学生部会ＳＣ）

第6回キャリア支援シリーズ
基礎、臨床、教育発達、各分野からの先輩をお招きして、後輩たちにアドバイスを頂きました。
院進学への具体的なイメージがわいたと、好評でした

こんにちは、白金心理学会在学生部会SCです。2011年度の活動を報告します。

在学生部会では、新入生の支援を目的として、フレッシャーズ研修とスポーツ交流会を毎年企画しています。2011年度は、4月にフレッシャーズ研修を、6月に心理学科スポーツ交流会、5月と12月に教育発達学科スポーツ交流会を開催しました。フレッシャーズ研修では学校生活についてガイダンスを行い、午後はクラスごとに分かれてクラスアドバイザーの先生方にクラスミーティングを行っていただきました。スポーツ交流会では、体を動かしながら新入生同士はもちろん、先生方や、SCとの交流を深めました。

10月8日に開催された白金心理学会第4回大会では、当日の準備や運営のお手伝いをさせていただきました。講演会やラウンドテーブルで、貴重なお話を聞くことができました。

10月から11月には、白金心理学会ホームページの「ゼミ情報」を更新しました。ゼミ生の生の声を聞きたいということで、各ゼミ長を中心に執筆していただきました。また、今回新たに教育発達学科の「ゼミ情報」も作成しましたので、是非ご覧ください。

12月には、3日間にわたって、キャリア支援イベント「What's 院進学!!」を開催しました。大学院進学の経験を持つ方と4月からの進学予定者をお招きし、進学に向けた勉強法や、大学院での生活についてお話していただきました。遠藤裕史さん（06生）、田中育代さん（97生）、小玉紗織さん（07生）、中丸愛美さん（06生）、須藤竜之介さん（08生）、椙田麻菜美さん（02生）、貴重なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。

１月には新たなメンバーも加わり、人数も大幅に増えました。今後も様々なイベントを企画していきたいと思っています。これまで以上に精力的に活動できるように、一丸となって頑張りますので、よろしくお願いします。

心理学部公開講座の報告

金沢　吉展 先生（心理学科教授）

公開講座　第1回
フロアとの質疑応答の活発さに参加者の関心の高さが伺われます。

東日本大震災から1年のこの時に、心理学部では、震災後の現状について学ぶとともに、心理学の果たすべき役割について考える機会とするため、「東日本大震災後の社会と心理学―家族と子どもたちの未来―」をテーマとする公開講座を開催しました。本公開講座は3月3日（土）と3月12日（月）の2回開催され、本稿では第1回目の講座について報告をいたします。

まず、NPO法人やまがた育児サークルランド代表の野口比呂美先生に、「震災後の子育て支援の現状と今後の課題 ―山形における実践から―」についてご講演いただきました。先生のお話では、福島県から山形県へは子育て中の多くの方々が避難して来られたが、父親と離れて暮らす母子世帯が多いことから、避難家庭への支援として、県内各地での子育てサロンの開催、山形市内3カ所の公民館での育児サークルの立ち上げと運営、そして今後の子育て支援に関する行政や地域との連携、といった子育てに関する援助活動を行っておられるとのことでした。

ご講演からは、避難して来られたご家族の方々が、基本的な身体的・心理的安全に関する問題を未だに多く感じておられることや、経済的問題についてのニーズが高いことが示され、長期的かつ複合的な取り組みの必要性が痛感されました。また、援助に携わるスタッフの方々のご苦労もお話しいただき、心理学に関わる者にとっての役割について考える貴重な機会を得ることができました。

公開講座　第2回
講師は 仕事場D･A･Nの団 土郎先生。軽妙な語り口に ぐいぐい引き込まれます。一般参加の皆さんもとても楽しそうでした。

ご講演の後、本学部の教員によるコメントと、フロアとの質疑応答が行われました。終了後のアンケートからは、震災から1年が経つこの時期にこの講座を開いたことについてご好評をいただくとともに、子どもたちへの援助について深く考えさせられたとのご意見をいただきました。

写真や資料も交えての具体的な講演内容

お忙しい中、遠方からご足労をいただいた野口先生、ならびに、ご参加いただいた皆様に感謝を申し上げる次第です。

インタビュー　よろしくお願いします！！　～伊藤　拓先生の巻

太田　健介（在学生部会SC）

2011年度から、当学部で教鞭を取っていただいている伊藤先生に、お話を伺いました。

――まず出身地を教えてください。

先生「東京で生まれ、５才まで福島で育ちました」

――これまで、どのような活動をされてきましたか。

先生「大学教員の他にスクールカウンセラーや、市町村にある教育センターで、教育関連の相談を受ける相談員などやっていました」

――次に、伊藤先生の専門分野を教えてください。

先生「そうですね、私は幅広く心理学の各分野が好きなのですが、特に専門を挙げると学校や教育に関する臨床心理学、ということになります。しかし、いずれはコミュニティや産業の分野にも関わりたいと考えています」

子煩悩で愛妻家の
伊藤　拓　先生

――伊藤先生は、学校心理学に関するゼミを開講していますよね。学校心理学など、教育に関する臨床について詳しくお聞かせください。

先生「学校で起こる問題には、色々なことが関連しています。もちろん、生徒の問題が第一ですが、その問題はなぜ起こったのか、ということを多面的に捉える必要があると僕は考えています。一人の生徒の問題であっても、様々な要因があって起こります。本人、教育システム、教員、家庭、社会的環境、など様々な要因が影響して問題が起こります。学校に関わる人たちが健康的に生活し、生徒が健やかに成長するために、心理学の立場から貢献していきたいと考えています」

――自分が心理学を専攻して、よかったと感じたことを教えてください。

先生「これは難しいね。山ほどあるから、挙げればキリがないけど…そうだね、他者を理解するための考え方を学べた、というのが一番かな。心理学を学んで、自己理解も深まったしね。それでも、よく失敗するけど(笑)。僕は、自分の考えが正しいと思ったら譲らないところがあるのです。だから、心理学を学んで、他の人の考えや考え方を理解することの大切さと、それを実現するための方法を知ることができた、というのは自分にとって大きいですね。コミュニケーションを取るときに、相手のあらを見てしまうことってあると思うけど、それって相手の一部分でしかないよね。相手の良い部分に着目して、相手の全体を見るようにすることを学んだ、という点では、心理学を学んで人生が変わったと思います」

――では、学生たちに求めることを教えてください。

先生「今の学生たちには、とりあえず、勉強やアルバイトだけでなく、『その他の何か』をやってほしいと考えています。その何かは、例えば、ボランティアでもいいし、サークルでもいい。こういった、ＳＣの活動も素晴らしいと思います。私たちは様々な体験から多くのことを学べます。大学時代には何でもいいから「これをやった」と言えるような体験をし、それを続けて欲しいです。それがあると、学生生活はより有意義なものになるし、より成長できると思います。他には、学生には『書くこと』を大事にしてほしいと思います。しっかりとした文章を書くことが、将来、仕事をはじめ様々な場面で必要とされます。『書くこと』の量と質を上げて欲しいと、考えています」

――先生は、学生時代はどのような学生でしたか。

先生「そうですね、僕は２回大学に行っているんですが、２回目24才頃に大学に行った時には真面目な学生でした。１回目18才頃は恥ずかしながら、不真面目な学生でしたね」

――ちなみに、１回目には大学で何を専攻していましたか。

先生「政治や経済を勉強していましたね。その後、一般企業に就職してから心理学を専攻しました」

――では、なぜ心理学を専攻しようと考えたのですか？

先生「うーん。企業で勤めていくうちに、心理学が活かせることが会社や組織の中にたくさんあるんだな、と思ったのが理由かな。特に、心理学で職場の健康促進に貢献したいと考えたのです。また、しっかりと勉強して、自分を成長させなきゃいけないと思ったのも大きな理由です。そのために、心理学を勉強しようと考えました」

――今の休日の過ごし方を教えてください。

先生「家族と一緒に過ごしています。家族と公園に出かけたりなど、家族仲は良いです。うちの奥さんは世界一です（笑）」

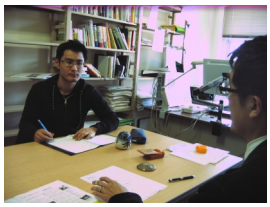
――今回のインタビューで、伊藤先生の考えていることを知ることができて、非常に有意義な時間でした。お話をうかがって、心理学というものは幅広い分野で扱うことができ、色々な場所で応用できる学問である、と感じました。また、『書くこと』は学生のうちだけでなく、社会人になっても必要とされる能力である、と感じたので、『書くこと』に関する意識を高めていきたい、と思いました。

伊藤先生、ご協力ありがとうございました。

伊藤　拓　先生
主要担当科目
「学校心理学」

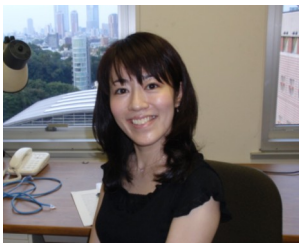
【明治学院大学心理学部ホームページ】（心理学部　オリジナルサイト）http://psy.meijigakuin.ac.jp/
→【専任教員紹介】にて、専門領域、授業内容のご紹介

【白金心理学会　ホームページ】
→【ゼミ情報】にて、学生目線からのゼミの様子を紹介しております。合わせてご覧ください。



インタビューの様子
伊藤先生の研究室にて
左上、インタビュアーの
太田健介さん

明治学院は２０１３年に
１５０周年を迎えます
http://mg150.jp/



講演者　島内　晶さん
群馬医療福祉大学（准教授）

実際の現場でも問題になっている高齢者の虚偽記憶。
今後の臨床への応用が期待されています。

第4回大会の講演中の様子
100名以上の参加者が集いました。もっと聞きたい、時間が足りない等のお声を頂いております。

第4回白金心理学会大会の報告

2011年10月8日、白金心理学会第４回大会が開催されました。

第１部は本学心理学研究科博士後期課程第１期修了生（第一号博士号取得）である島内晶さん（群馬医療福祉大学）から「高齢者の虚偽記憶」というタイトルで講演がありました。

第２部の心理学部教育ＧＰ記念シンポジムでは、藤﨑先生（教育発達学科教授）、小林先生（教育発達学科教授）、野村先生（心理学科専任講師）から心理支援論を基盤とした循環型教育システムの理念、実際の方法・内容、現時点での学修成果について説明があり、その後、北島茂樹先生（日本赤十字国際看護大学・日本コミュニティ心理学会会長）、子安増生先生（京都大学・日本発達心理学会理事長）、伊藤出井　雄二先生（教育発達学科准教授）健二先生（慶応義塾大学）をシンポジストとしてお迎えし、本学部の教育＝心理学の新スタンダードの構築＝についてコメントをいただきました。

第３部ラウンドテーブルは「東日本大震災支援～心理学は何ができるのか」をテーマに、被災地の現場で心理判定員として働く早川聡子さん（卒業生）、ボランティアで活動した大野晃佑さん（心理学科４年）、家族心理学の立場から野末武義先生（心理学科准教授）、社会心理学の立場から宮本聡介先生（心理学科准教授）の４人から、それぞれの立場で心理学ができることについて提言がなされました。このように第４回大会は心理学の奥深さと幅広さを感じさせる大会となりました。

新任教員のご紹介

（大学・学部パンフレットより一部抜粋）

金城　光　教授　認知心理学がご専門。主要担当科目は『認知心理学概論』。身近な認知活動の仕組みや働きについて基礎や研究方法を学び，　認知の秘奥に迫ってみましょう。

鞍馬　裕美　専任講師　教育経営学がご専門。主要担当科目である『教育の制度と経営』では学校教育の基盤となる法令や制度について理解を深めます。

溝川　藍　助教　認知発達心理学がご専門。主要担当科目である『心理学総論A』では人間の心の働きや行動についての基礎的な知識と心理学的な考え方を学習します。

事務局よりお知らせ

○2012年白金心理学会第5回大会が開催されます

来る2012年6月9日(土)13：00から白金校舎2301教室において「白金心理学会第5回大会」を開催いたします。当日は懇親会もございますので、皆様お誘いあわせの上ご参加下さい。（HPからの事前申し込みにご協力ください。なお、懇親会のみ有料です。）

○教員からのお知らせ

今年度のサバティカルは杉山恵理子先生です。今年度は出校なさいませんのでご注意下さい。

○白金心理学会HPをリニューアルしました！

白金心理学会HPをリニューアルしました。それに伴いURLが新しくなりましたのでブックマークなどの変更をお願いします。　新URL　http://psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/

○卒業生のみなさまへ　白金心理学会にご入会下さい！

すでに心理学部および心理学専攻科の皆様には入学・進学時にリーフレットを配布しご案内しておりますが、在学期間中は白金心理学会費として一人年間2000円をお預かりしております。
卒業生の皆様におかれましても、この機会に是非ご入会下さいますようお願いいたします。

お預かりした会費は、次のような活動の費用に充てられます。
①心理学部(前身諸学科含む)卒業・修了生、教員、在学・在院生、との交流会の企画および運営
②在学・在院生、卒業・修了生のキャリア支援のためのイベント企画及び運営
③心理学部(前身諸学科含む)、心理学専攻科名簿管理
④年次大会・総会開催、会報発行、講演会企画及び運営
⑤白金心理学会に関わる広報活動。
ご不明な点は、白金心理学会事務局までご連絡ください。皆様のご入会をお待ちしております。

○卒業後の住所変更登録にご協力下さい！

卒業時から住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会HP「卒業生へのお願い(連絡先変更登録)」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108－8636
東京都港区白金台1－2－37
明治学院大学
心理学部共同研究室内

TEL＆FAX:
03(5421)5814
問い合わせ用E-mail：
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp

第5回白金心理学会大会参加申し込み及び住所変更は下記URLまで
URL：http://psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/